

避難情報(水害・土砂災害)を 警戒レベルでお伝えします。

「警戒レベル」は、災害発生のおそれの高まりに応じて市町村が発令する避難情報等に付される数字で、「警戒レベル4避難勧告を発令しました。」などと呼びかけます。下記を参考に適切な避難行動をとりましょう。

「警戒レベル相当情報」は、国土交通省、気象庁、都道府県等が発表する防災気象情報に付されるもので、住民の皆さんが主体的に避難行動等を判断するための参考となる状況情報です。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	気象庁等の情報				相当する警戒レベル
			大雨特別警報	危険度分布		氾濫発生情報	
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報※ ※災害が実際に発生していることを把握した場合に可能な範囲で発令 (小城市が発令)	大雨特別警報	極めて危険	氾濫発生情報	5相当	国土交通省・気象庁・都道府県等発表表
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急)※ ※地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令 (小城市が発令)	土砂災害警戒情報	非常に危険	氾濫危険情報	4相当	
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 (小城市が発令)	大雨警報 洪水警報	警戒(警報級)	氾濫警戒情報	3相当	
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報	注意(注意報級)	氾濫注意情報	2相当	
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)	大雨注意報 洪水注意報	注意	氾濫注意情報	2相当	

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。
※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

市が発表する防災情報は、様々な情報を踏まえ「警戒レベル」避難情報を発令するため、同じレベル相当の防災気象情報と避難情報の出るタイミングが必ずしも同時になるわけではありません。また、警戒レベルは必ずしも1から5の順番ではありません。急変もありますので、「自らの命は自らが守る」との意識を持って、警戒レベル相当防災気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとるよう心がけましょう。

「特別警報」が発表されたら

警報の発表基準をはるかに超える豪雨や津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、気象庁は「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼びかけます。

特別警報が出た場合、発表された地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や市から発令される避難指示・避難勧告の情報に注意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

特別警報の発表基準

現象の種類	基準	現象の種類	基準
大雨 (土砂災害・浸水害)	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	地震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 《緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける》
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 《大津波警報を特別警報に位置づける》
高潮	暴風が吹くと予想される場合	火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 《噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける》
波浪	高潮になると予想される場合 高波になると予想される場合		
暴風雪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合		
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合		

※表中の「数十年に一度」の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公開しています。

警報・注意報などの 防災気象情報

警報	大雨(土砂災害、浸水害)、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
注意報	大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雪、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪
早期注意情報 (警報級の可能性)	大雨、暴風(暴風雪)、大雪、波浪

避難する場合…

●避難する前に

電気のブレーカーを落とし、ガスなどの元栓を閉め、親類や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



●一人暮らしのお年寄りなどには気配りを

近所の一人暮らしのお年寄りや病気の方がいる場合は、声を掛け合って一緒に避難しましょう。



●災害用伝言板・SNSで連絡する

電話が通じなくなることを想定し、災害用伝言板やSNSを活用するなど連絡手段を複数用意しましょう。



●速やかに避難しましょう

避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。避難の際には消防団員などの指示に従いましょう。



●車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。

非常持出品・備蓄品リスト

リストを参考に家族構成に合わせて非常持出品・備蓄品の準備をしましょう。

非常持出品

避難しやすいよう、できるだけコンパクトにまとめましょう。

●食料

- 飲料水 (持ち運びに便利なペットボトル)
- 缶詰 (魚、野菜、果物など)
- 非常食 (チョコレート、キャンディなど)
- 乾パン
- アルファ米、レトルトご飯

●日用品など

- リュックサック
- ビニール袋
- ティッシュペーパー
- ウエットティッシュ
- 新聞紙
- 筆記用具 (油性マジックなど)
- ろうそく、ライター、マッチ
- 軍手、タオル
- 懐中電灯、ランタン
- 携帯ラジオ
- 電池
- 携帯電話の充電器・バッテリー
- 洗面用具、マウスウォッシュ
- 使い捨てカイロ
- 簡易トイレ
- 生理用品
- 缶切り、栓抜き
- 雨具(カッパ)
- 割り箸、使い捨て容器
- ラップ、アルミホイル

●救急・安全対策

- 常備薬 (胃腸薬、かぜ薬など)
- 包帯、ガーゼ、ばんそうこう
- 傷薬、消毒薬
- 持病のある方の薬
- お薬手帳
- マスク
- ヘルメット
- 笛(ホイッスル)
- 地図 (ハザードマップ)
- マイナンバーカード、免許証など (身分を証明するもの)
- 家や車のスペアキー
- 連絡先を記入した手帳

●貴重品

- 現金(小銭)
- 預金通帳、印鑑、クレジットカード
- 健康保険証

家族構成に合わせた準備

●乳幼児がいる家庭

- 粉ミルクとほ乳瓶
- 液体ミルク
- 軟水・清潔な水
- ベビーソープ
- 離乳食
- ガーゼ
- おむつ
- おもちゃ・絵本
- お尻ふき
- 母子手帳

●妊婦がいる家庭

- 病院の診察券
- 分娩準備品 (出産が近い場合)
- ナプキン
- お薬手帳
- 洗浄綿
- 毛布
- 母子手帳
- 着替え

●高齢者がいる家庭

- 食料品 (水分が多く保存がきく物)
- おむつ・紙パンツ
- 持病等の薬
- お薬手帳
- 老眼鏡
- 入れ歯洗浄剤
- 身元のできるもの

備蓄品

家族が最低3日間は過ごせるように備蓄しましょう

- 飲料水(1人1日2~3リットルを目安)
- 非常用給水袋
- 非常食 (缶詰、乾パン、レトルト食品など)
- カセットコンロ、ガスボンベ
- 衣類(上着・下着など)
- トイレットペーパー
- スコップ
- ロープ
- ブルーシート
- 工具
- ガムテープ

ローリングストック法

非常持出品・備蓄品として保管する非常食などを定期的に消費し、その分だけ補充していく備蓄方法です。「食べながら備蓄する」ことで賞味期限を過ぎることがなく経済的です。

